

Future of Hokkaido

基本目標2

安全・安心な生活基盤の創造

北海道は、全国を上回る人口減少・高齢化の急速な進行といった「地域の存亡に関わる危機」に直面する中、健康で心豊かな生活の実現に必要な基盤の整備が喫緊の課題となっています。このため、誰もが安全に安心して暮らすことができるよう、保健・医療・福祉などが充実し、将来にわたって住み続けたいと思える社会の実現に貢献します。



健康づくりや医療は・・・

健康メニュー

AI・IoTを活用し、個人の健康状態をリアルタイムで把握するシステムが構築されています。個々の健康状態に応じて、最適な「食・運動」メニューが提供されています。



高齢者などのケアは・・・

ケアプランの作成

介護の蓄積データやAIを活用した最適なケアプランにより、サービスを受給する高齢者の介護度が改善され、自宅で過ごす時間が増え、家族団らんを楽しんでいます。



地域交通や災害対策は・・・



自動運転

人口減少などで路線バスの運行が困難となった地域の交通問題を自動運転バスが解決しています。また、ネット通販等で増加した宅配物とドライバー不足を自動配送トラックが解消しています。



遠隔医療

AIを活用した診断支援や遠隔医療等の普及により、安心して効果が高い医療を居住地に関わりなく受診することができます。健康づくりに主体的に関与し、患者自身が治療法を選べるようになります。



介護の現場

パワーアシストや、モニターを使った健康管理システム、話し相手となるコミュニケーションロボットが幅広く普及し、介護人材不足が解消しています。すべての要介護者がきめ細やかなで効率的なサポートを受けています。



災害の現場

膨大な過去データやセンサーからAIが災害を予測し、精度の高い防災マップが作成されています。災害発生時には、救助ロボットが危険な地域での情報収集や救助活動を担っています。

基本目標3

環境と調和した持続可能な社会の実現

Future of Hokkaido

地球温暖化防止のための新しい国際的な枠組みである「パリ協定」が発効する中、豊かで優れた自然環境や多様なエネルギー資源などを有している北海道は重要な役割を果たして行かなければなりません。このため、循環的な資源利用や温室効果ガスの排出削減などにより環境への負荷軽減をさらに進め、環境と経済活動やライフスタイルが調和し持続可能な社会の実現に貢献します。



循環型社会は・・・

資源循環サイクル

廃電子機器から再利用できるレアメタルの回収が行われるなど、高度な技術力を活かして、製造・使用・再利用のプロセスが大きく見直され、より付加価値の高い再利用・長期利用へと資源循環サイクルがシフトしています。



新エネルギーの導入は・・・

技術的な課題の解決

産学官の先端的な研究開発の成果により、安全な蓄電技術の開発や送電コストの低減、エネルギー高効率生産が実現し、暮らしや産業など様々な分野で新エネルギーが活用されています。



エネルギーの効率的利用は・・・

スマートコミュニティ

地域コミュニティ単位で、住宅や工場など、それぞれが創り出したエネルギーの余剰分などを無駄なく賢く融通し合う地域循環システムが構築されています。



低炭素社会

ゼロエミッションハウスや、水素エネルギーを活用した燃料電池自動車が普及するなど、温室効果ガス削減に向けて、技術・社会システム・ライフスタイルの抜本的な改革が進展し、低炭素社会が実現しています。



エネルギー自給率

地域の特性に応じて、太陽光、風力、地熱、バイオマス、小水力などの多様なエネルギーの導入拡大に向けた課題が解決され、エネルギー自給率が向上しています。



高気密化住宅

道内に広く普及している北方型住宅は、高気密化やエネルギーを無駄なく賢く使う設備など性能が向上し、省エネルギーに配慮したものとなっています。

